

2013 ベトナム施設園芸現地研修ツアー

《研修期間：2013年11月18日（月）～24日（日）》

参加者アンケート回答結果



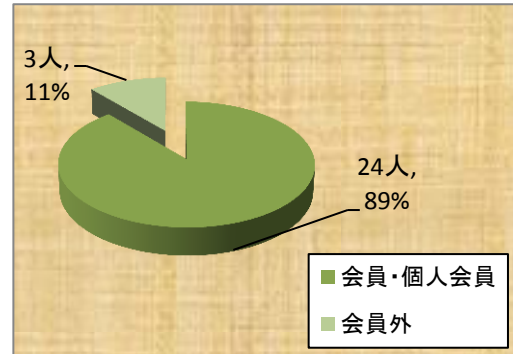
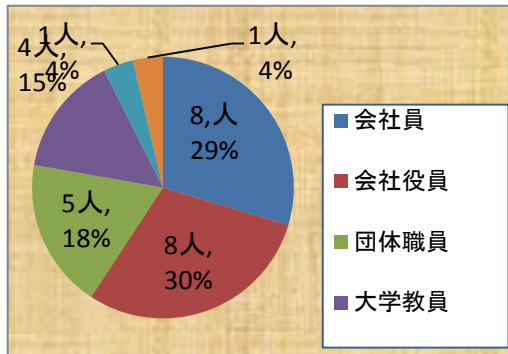
ベトナム訪問都市



旅行企画・主催：一般社団法人 日本施設園芸協会

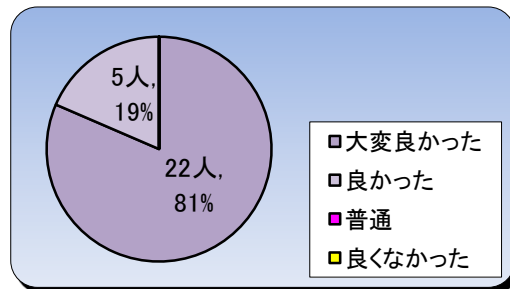
●『2013 ベトナム施設園芸現地研修ツアー』参加者アンケート回答結果

※本ツアーの参加者は、下記のとおり



【問1】 今回の「2013 ベトナム施設園芸現地研修ツアー」に参加して、全体の感想はいかがですか？

- 大変良かった
- 良かった
- 普通
- 良くなかった

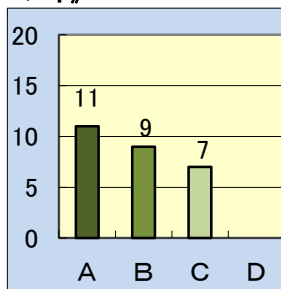


※ツアー参加者27名の内、アンケート回収27名(回収率:100%)

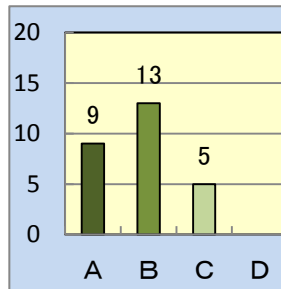
【問2】 各視察先について、視察先対象として評価(*A~D記入)をお尋ねします。

評価基準…A: 大変良かった、B: 良かった、C: 普通、D: 良くなかった

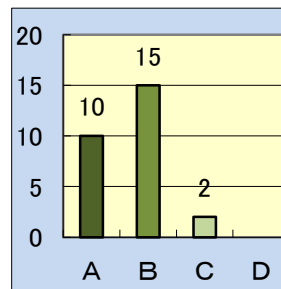
《ハノイ》



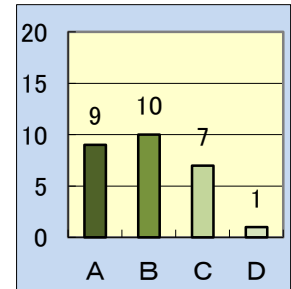
①



②

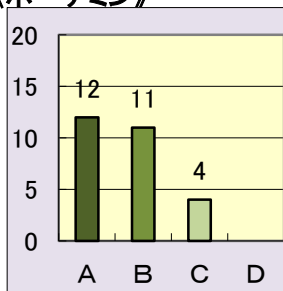


③

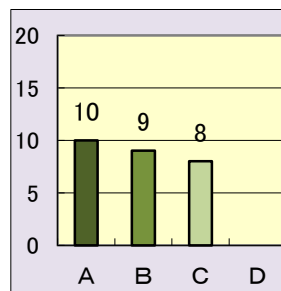


④

《ホーチミン》

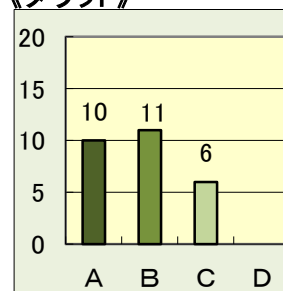


⑤

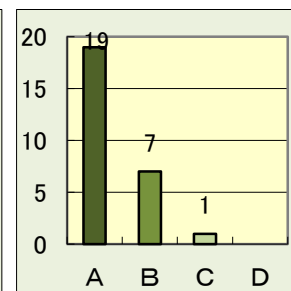


⑥

《ダラット》

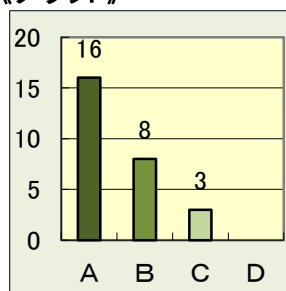


⑦

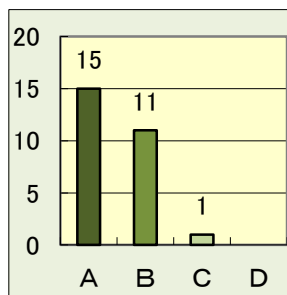


⑧

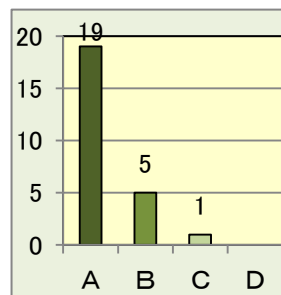
《ダラット》



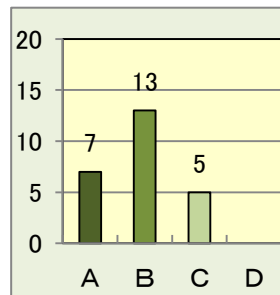
⑨



⑩

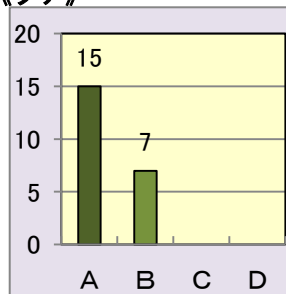


⑪ 2人視察なし



⑫ 2人視察なし

《クチ》



⑬ 5人視察なし

※ベトナム現地視察先

| |
|--|
| ①ベトナム農業農村開発省(MARD) |
| ②ハノイ近郊施設園芸団地(網ハウス 19生産農家) |
| ③Fruit and Vegetable Research Institute(果実野菜研究所) |
| ④安全野菜農場(バンドク村)露地野菜団地 |
| ⑤南ベトナム農業研究所(※予定外視察先:USB提供) |
| ⑥ホーチミン市農業農村開発局(Ho Chi Minh City DARD) |
| ⑦ラムドン省農業農村開発局(Lam Dong DARD) |
| ⑧DALAT GAP CO. LTD及びダラットの施設園芸団地 |
| ⑨一般農家の竹骨ハウスなど多種類 |
| ⑩ハウス建設現場(カーネーション栽培)など |
| ⑪ダラットHas Farm(民間の輸出を目的とした農園) |
| ⑫ダラットpotato,vegetable & flower Research Center |
| ⑬ホーチミン市農業ハイテクパーク |

【問3】 視察先のどのような点が参考になりましたか？あるいは、どのような点が有意義でなかったですか？それぞれ、具体的な理由をお聞かせください。

*「参考になった点」……(* 回答内容全文掲載)

- ・竹ハウスは初めて見たがそれなりにできており、現地の人々の要望に応じた機能を発揮しているようで面白い。ただ、耐久性の面からは竹では課題があるので、今後長期使用可能な資材の導入が進むのかもしれないが、価格の面からは国や地方自治体の支援が必要だと思われる。
- ・外国資本のHas Farmでは現地労働者もしっかりと働いていたのが意外であった。町中を見ると小さい商店では何をやるわけでもなくボーッとしている人が結構いたので、労働者の意識レベルは高くないのと思っていたが、Has Farmのようなきちんと管理されたところでは、みんなまじめに働いていたので、今後農業分野でも参入が増えるかもしれない。
- ・ダラットpotato,vegetable and flower Research Centerではイチゴの受粉などについての基本的な理解が不足していることがわかった。研究者レベルでまだ植物生理などについての知識が不十分のようであり、日本を含め農業先進国への留学などの必要性を感じた。最後に、とにかく外国の現場を実際に見ることは非常に勉強になりました。

- ・ 中央政府・地方政府関係機関の対応、説明がとても良かったです(菅谷さんの根回しが良かったせいですかね)。ベトナム農業・施設園芸に関する予測以上の情報が得られました。
やはり、ダラットの施設が圧巻でした。プラスチック + ネットハウス約4,000haは聞きしに勝るものでした。
戻ってGoogle Earthでもラムドン省の施設の上空写真は実に見応えがあります。
DALAT GAP CO.LTDはHP=www.dalatgap.com/english/でさらに内容が分かりました。
今回も「参加して良かった」研修ツアーでした。
- ・ 生産物の出荷先が、日本をターゲットにしている農家が多く、ベトナムの余り経費をかけない農産物が日本に入ってきた時に、重装備の日本の生産者は何をすべきかを考える必要性を感じた。
- ・ ジャガイモの養液栽培を初めて見て、驚き、根菜類は養液栽培では不可能と思っていたが認識不足であった。到着時は遅れた施設園芸の視察を「ムダ」と思っていたが、上記の様に視点を変えて見ると違った部分が見えて来たのが良かった。
- ・ 熱帯条件下での施設栽培(網ハウス、雨よけハウス)、高冷地での施設栽培がつぶさに見られたのは良かった。技術的な面では、まだまだのものも多かったが、今の所は政府を含む投資が不十分なためと思われ、経済発展に伴って農業分野への投資も進められよう。最後に訪問したHigh-Tech Parkはその一例と言えるのではないか。10年後には劇的に発展した姿が見られるのではないか？ 印象的だったのは、参加者の皆さんが非常に冷静に適格にベトナム施設園芸の姿を理解し、それぞれの立場から分析的に評価をしていた事であった。
- ・ どの機関に寄っても、日本の種子をほしがっている事に、日本への輸出を考えての事だと分かった事が参考になりました。ハウスに関しては、その国独特の特徴があり、目と肌で感じ取れた事が良かった。
- ・ 全体を通じて今回の視察は私にとってベトナムの農業や施設園芸に関する知識を得る上で大変参考になりました。ドイモイに基づく政府の農業政策や技術・研究開発の状況、農産物の安全性確保政策の取組状況を実際に確認でき勉強になりました。特に印象に残ったのは、ベトナムGAPがグローバルGAPと相互認証レベルにあり、実際に導入されている点やジャガイモの苗による栽培方法(実物を初めて見ました)、Has Farmの経営規模や生産、加工(切り花)、販売、ハイテクセンターの試みと今後の展開等でした。
我が国の農業生産の今後において手強い競争相手になる感じがしました。
- ・ 政府機関から民間事業者まで幅広く視察できたので、それぞれを日本の場合と比較でき、ベトナムの施設園芸のイメージを自分の中に持てるようになり、大変参考になりました。
- ・ ベトナム全体の施設園芸の現状、これからの可能性が駆け足でしたが見れたのは良かったと思います。
- ・ Has Farm: 6人で開業した会社が、20年で従業員2,000名を有する規模まで急成長した事例を知ることができたこと。急成長する会社の雰囲気を知ることができたことが有意義でした。
ハノイ、ホーチミン、ダラット: 気候・地理条件が異なる各地域の農業の形を比較することができたこと。
ホーチミン市農業ハイテクパーク: ベトナムの農業がどういうものを目指しているか知ることができたことが有意義でした。
- ・ 行政機関に関してはそれぞれの地域での取組みの違いが、理解でき参考になった。また、今後伸びるであろう品目についての話もあり、種苗業者としては興味深い点であった。
- ・ ハノイ近郊施設園芸団地では栽培環境など詳細を知ることができ、なお、安全野菜農場ではネットできとけられている内容と違いがあり、ベトナム農業の現場の一端を知ることができ、有意義でした。
- ・ おおよそではあるが、ベトナムの施設園芸の規模・内容等の全体像をつかむことができた。
直前まで訪問先が決まらず、また訪問先の情報が事前に殆ど得られなかったことは課題である。
ダラットのハウス群の広がり予想以上であった。
- ・ ダラットでの施設園芸を視察できた事。
特に、Has Farmの高度な施設、ベトナム農家のやる気を感じさせられました。
日本の施設園芸同様にならないか？ 資金力のある農家、または外貨導入農家は大きくなり、零細農家は衰退しないかと思われた。また、気候変動によって重装備を余儀されないだろうか？
- ・ ダラットではエネルギーを必要としないで、一年間栽培が出来る事に驚きました。
ダラットではHas Farmの委託で花卉を栽培している生産者もいて、流通、経営がHas Farmを中心に成り立っていた。
今回は研究所などを視察することが出来たのですが、話によると国と生産現場との格差が大きいと感じた。
農業先進国に視察へ行くのとは違い、こちらからのアプローチがしやすいと思った。
- ・ ベトナムの北から南まで、多様な農業の実態をみる事ができ、全て有意義でした。
- ・ 北部の亜熱帯地区から南部のモンスーン地区までの施設が見られた事。ネットハウスが予想以上に効果を出していた事。ハウスコストと栽培コストの投資額バランス等の話が聞けたこと。

- ・今までは、風の強い地域や豪雪地域の補強型ハウスを勉強することはあったが、今回は全く逆の低コスト、省エネ型のハウスを見る事ができ、気候風土に応じた材質、施工の重要性を感じた。

ベトナムと言うと発展途上国とのイメージだが、世界に目を向けた農業生産やベトナムへの外資投入等の注目度などは想像以上であった。

参加者の皆様とも交流を深められ、多くの貴重なご意見も聞かせて頂き、大変有意義な研修でした。
- ・弊社としてのベトナムへの対応などを検討するには大変参考になりました。ただ日本の農業を考えたときに現地の方々が共通して関心を示していたのが「日本への農産物の輸出」であったことに大きな衝撃を受け、憂慮しています。ベトナムとは距離が近く、技術も急速に上がっていくものと思われます。

ベトナムに限らず東南アジアの多くの国が同様に日本向け農産物の輸出を模索している昨今、協会を中心として日本の施設園芸のあり方を考える必要が急務のような気がしました。
- ・ベトナムの施設園芸の現状を駆け足ではあったが、目の当たりにして、今後の日本とベトナムの施設園芸の関わり方において、自分なりに糸口が掴めたことが収穫であった。

ベトナムの一般農家のハウスは、国庫補助等の支援も無く、日本の数十年前の施設園芸の姿を映し出していたが、きっと日本の施設園芸の変遷よりも早いスピードで近代的な施設園芸に生まれ変わるものと思われるので、また数年後のベトナムの施設園芸の現状を見てみたいと思った。
- ・今回の研修を終えて、率直に感じたことは『ビジネスチャンス＝企業の利益を追求すること』がメインとなりがちになり、いつの間にか部分最適な発想で取り組んでいる30年前の日本経済の輝きに甘んじ、老化した日本(資本主義)の企業の不甲斐なさです。現段階でのベトナム(社会主義国家)における農産物栽培(生産)の取組みは、数十年前の日本の農家そのものと考えます。

同国において、業界各企業の権力達が、何時しか部分最適な企業利潤を追求するようになり、創業者視点顧客視点・共創視点の何れかを見失えば、いつしか成熟し、1次産業から2次、3次産業へと今の日本に同じく、農業界を高齢化してしまうことでしょう。そうなれば企業永続の危機を迎え、最終的には農業界そのものを老化させることになると言っても過言ではないと考えます。

成熟していないベトナム社会主義共和国の農業(1次産業)には、元気なチャレンジ精神が感じられ、挑戦して失敗する、挑戦して成功する…の繰り返しの先に著しい成長があるという認識を持ちました。

”成功”の反意語は”失敗”であると決めつけ、成功の反意語が、挑戦しないことであることに気づかずにいる成熟日本の企業人において、今こそ破壊的な創造がなければ、生き残ってはいけないと強く考えております。
- ・ハードなスケジュールの中、これで全てベトナムのベトナムの農業が理解できたとは思いますが、ダラット Has Farmの様な輸出目的とした農園は、これからも増えていく傾向にあるのではないかと考えた研修でした。気候が農業に合った国であることは理解できました。

日本の様においしい水はありませんでしたが、やはり農業には水が重要です。これからもベトナムに負けない技術提供等を推し進める必要性を感じた。
- ・ベトナムの農業のマクロ情報を取得できたので、政府系機関のプレゼンが非常に参考になりました。特に、上記問2-⑤でのプレゼンが参考になりました。

ハウス関係、特に興味があったのフィルム≡被覆材全般に関する情報が得られて有意義でした。具体的には下記の通りです。

問2-②③: 網ハウス・各種ハウスの実物見学ができました。

問2-⑦: ダラッドなどハウスのコスト(産国別)の情報

問2-⑧: 具体的な生産法人からのハウスへの意見、フィルムの価格情報、ハウスメーカー情報などが有意義でした。

問2-⑨: 具体的なハウス実物見学できた点、ベトナム製フィルムを見る事ができました。

問2-⑩: オランダ資本の先進的ハウスを初見学。フィルムに関する情報(メンテ他)も得ることができました。

問2-⑬: パーク内に様々なハウスがあり、使用されている各種フィルムを確認できました。
- ・ベトナム施設園芸の現状、安全野菜の取組みが理解できたことが収穫であった。ただ、今回の視察先はベトナム最先端のモデルケースだと思われ、これが全国で行われているわけではないと思う。

比較として、農業を使っている(使いすぎている)一般農家も視察したかったが、ベトナム側も見せたくないだろうから視察は難しいだろうと感じた。
- ・想像以上にベトナム農業が発展していたこと。露地作物も日本の渥美半島の農家の驚異となるのでは? 換気扇・循環扇・暖冷房等環境機器が入っていないのは、未だその環境になっていないか、or する気がないかが疑問であった。

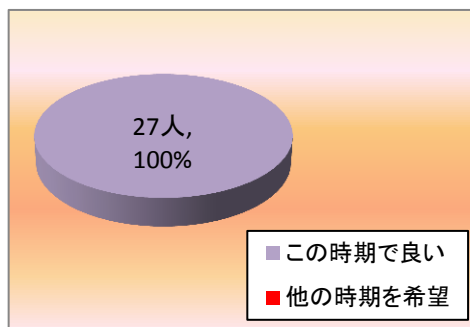
- ・高温多湿の国に施設園芸があるのか、半信半疑で、あまり期待してはいませんでした。しかし、ダラットの一面に広がるハウス群を見たとき、そしてHas Farmの取組みを見たとき、来て良かったと思いました。ホーチミンのハイテクパークも企業(起業)家の支援をしており、素晴らしいと思います。一般の農家は、まだまだ投資できる環境にはないと思いますが、企業が輸出向けに生産を拡大するであろうことは、TPPからみても予測され、そこに日本の技術が関わるであろうことは、日本の生産者にとっては注視すべきであると思います。
- ・ダラットにおいて、自然環境が良い(自然立地)所での農業生産が、これほどすばらしい(すなわち、極めて簡単な施設で、それほど高い技術でなくともかなりの生産ができる)農業生産をすすめる際には、自然的立地条件が良いことが非常に大きな効果を持つ。

***「有意義でなかった点」……(* 回答内容全文掲載)**

- ・ホーチミン市農業農村開発局では、英語表記のPPTだったが、他は、ほとんどがベトナム語であり、理解しにくい場面が多々あった。
- ・農業農村開発省及び各地方の開発局での対応及び意見交換が出来たことが有意義でしたが、ベトナムのトータル施設園芸面積や地区別・栽培品目別・ハウス型式別など各機関で統計数字がバラバラでざっくりした数字でしか捕えるところが出来なかったことがやや不満であった。
- ・訪問場所 & 質問等を施設園芸に特化して欲しい(無論、同国農業全般の事情は聞きたいので総括的な話が聞ける所は1箇所は必要)
- ④は不用
- ⑤は先方のプレゼン長すぎで殆ど自慢的な話で残念
- ⑪は訪問先としては非常に良かったのだが、応答者が知識不足な上に、会議室でのQ&Aが無く残念

【問4】 今後開催の研修ツアー実施時期は、何時頃が良いか？ お聞かせください。

- この時期が良い
- 他の時期を希望(具体的な時期をお聞かせください)
- 〔 月頃〕
- 〔理由: 〕

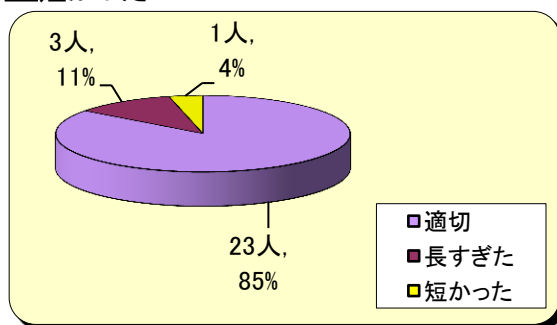


*** 他の時期を希望する理由**

- ・訪問先にもよりますので、一概には言えませんがこの時期でよいと思います。

【問5】 研修ツアー期間としては、今回5泊7日でしたが妥当でしたか？ (1つにレをつけてください)

- 適切
- 長すぎた
- 短かった



***特別にコメントあったものを掲載**

- ・少し長い
- ・土曜日帰国希望

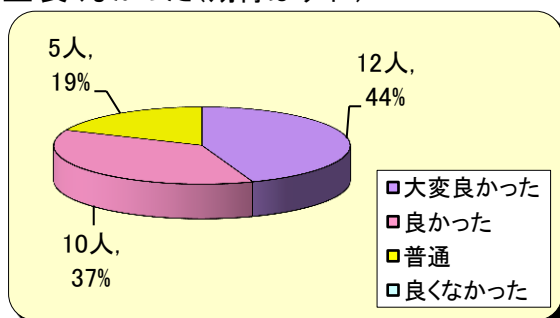
【問6】 次回の海外研修ツアーでの希望を具体的にお書きください。

希望する国、場所は？ 何をみたいか？(どんなもの等)

- ・ 今回が初めての参加でしたので、個人的にはどこでも新しい発見があると思います。
ただ、施設園芸先進国のイスラエル・オランダは行ってみたいですが、オランダはすでに行かれていますので
だいぶ先になりますね。
- ・ イスラエルに行ってみてほしいですね。節水農業の本場、小国でありながら世界への技術&農産物の
大輸出国は大いに興味あります。
- ・ 地中海沿岸国(プラスチックハウス中心で、日本とも共通の場面が多いので)
例:イスラエル、トルコ、イタリア、フランス、スペイン、チュニジア、モロッコ等ハウスメーカーや資材メーカー
等も訪問できると良いと思います。
- ・ 北欧や米国の施設園芸(寒冷地や条件不利地での農業生産)
- ・ トルコ、メキシコ、北アフリカ諸国
- ・ 北米あたりの施設園芸
- ・ イスラエル(砂漠・乾燥地帯の農業)
- ・ オランダの方が話されていた今後オランダ農業の強敵になるかも知れないという
ポーランドやモロッコ、東欧諸国
- ・ ベトナム(再度)、タイ、ミャンマー等の苗生産施設
- ・ ベツギー、ドイツ(花農家、自然エネルギーの施設への応用、ロボット技術)
- ・ トルコや東ヨーロッパの施設園芸
- ・ タイ、ミャンマーの農業
- ・ どの国にどのような施設園芸があるかをまず勉強します。
- ・ イスラエル、USA
- ・ イスラエル
- ・ ドバイ等の成金国における施設園芸(植物工場)で、生産する作物や高付加価値農産物
(高価に売買される農産物)
- ・ ベトナム以外に施設栽培が目立ってきた国。
- ・ 中国(ハウスの多い場所、具体的な農場、大手ハウスメーカー、資材流通販売会社、大手生産法人)
- ・ タイ(ネットハウス、一般農家)
- ・ フィルム使用の施設園芸、タイ、フィリピン等東南アジア圏、無理かも知れませんがアフリカ&南米
- ・ インドなどアジア圏
- ・ 台湾、タイ、マレーシア等(施設栽培、食品加工等)

【問7】 今回のホテル及び食事面での評価をお尋ねします。(1つにレをつけてください)

- 大変良かった
- 良かった
- 普通
- 良くなかった(期待はずれ)



【問8】 ホテル及び食事面で、どのような点が良かったですか？

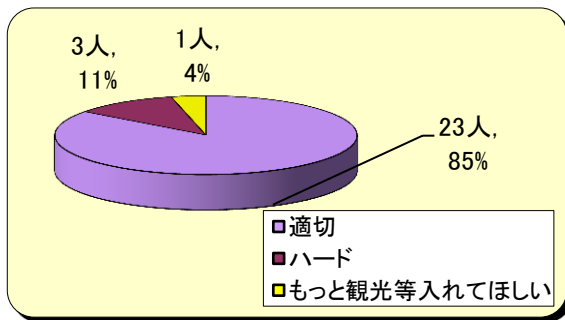
あるいは、どのような点が良くなかったですか？

それぞれ、具体的な理由をお聞かせください。 ……（* 回答内容全文掲載）

- ・ ホテルは4つ星だったので、セキュリティの面からも安心できました。朝食もおいしかったです。昼・夜のレストランも一定以上のレベルのところでしたので、衛生面も安心できました。もちろん味にはとても満足でした。
- ・ 食事はすべて美味しくてすばらしかったです。ベトナムビール＆ワインの味もとても良かったです。ハノイホテル＝5☆、熱々のお湯とバスタブが良かった。朝食もGoodでした。ダラット ゴルフ3ホテル＝4☆、熱々のお湯とバスタブGood、ダラット市場近くで良かったですね。**ホーチミン ラマナホテル＝3 or 2☆、これは正直良くないです。部屋のキーも風呂も壊れてました。**
- ・ 食事は熱帯地区で、くだい物が多いと思っていたが、ベトナム料理が日本人に合うことが分かりホッとした。
- ・ 飲み物代を協会事務局が持ったのは良かった。（この習慣を続けて頂きたい）
- ・ ホテルでは毎回階を変更して気を使ってくださりありがとうございました。食事はベトナム料理で良かったと思います。最後はバクチャーがずっと鼻についてしまったが…。
- ・ どのホテルも比較的広く快適でした。相部屋でない点は気兼ねなく、大変良かったです。今後もお願い致します。
- ・ 滞在中、体調を崩さなかったのは、ホテルの食事のおかげだと思っています。無線LANを利用できるホテルで助かりました。
- ・ 食事等気をつけるよう思っていたが、全体的においしくいただけました。
- ・ 全体的になじめる食事が多く美味しかった。**早朝移動での食事は不要でした。**
- ・ ベトナム料理は食べやすかった。
- ・ 地元の料理を食べる事が出来て良かった。
- ・ どの滞在先も綺麗なところで良かったです。同じ感じの料理が続くことはありましたが、美味しくいただくことができました。
- ・ ホテルは設備面でまったく不満のない良いホテルでした。食事も様々なベトナム料理を食べられ良かったです。
- ・ 予想していたより良かった。刺激(辛い)も少なく胃に負担も無く、安心してツアーも無事過ごせた。
- ・ どのホテルも部屋は清潔でインターネットが繋がったので、通常業務にも支障なく過ごせた。食事は現地料理を堪能でき良かった。
- ・ 全体的においしく場所も適切、協会のあらゆる配慮に満足です。
- ・ ベトナム料理の味付けが薄味なものが多く、小生にはマッチしていた。質・量ともに申し分ない内容でした。地場のフォーは、もっと多く食べておけばよかった…と多少後悔しているところもあり。
- ・ その国の料理が安全でおいしくいただけました。
- ・ どのホテルとも水回り、ベッドなど問題ありませんでした。快適でした。**ただ、(国の問題かもしれませんが)ネット接続があるのですが不安定なので苦労しました。**外部レストランでの食事でもベトナム料理の中で、日本人の舌に合うメニューを選んでいただいていたので問題ありませんでした。
- ・ **ホテルは市内に近い方が良い。食事は普通だったが、団体で食事ができる所が少ない為、しかたないと思う。**
- ・ ホテルは全般的に良かった、**最終日「昼」も協会で用意して欲しかった。同国料理以外のものを 1or 2回入れてほしかった。喫煙禁煙を事前に確認して部屋に反映しておいて欲しかった。**
- ・ 四つ星ホテルの広い部屋は快適でした。もったいないくらいです。食事は毎回食べたい物を選んで最高です。今回は太らないように調整しました。飲み物はベトナムのものがすべて飲んで、しかも昼も、良かったです。
- ・ 一人一部屋の利用及び風呂がある点が良かった。

【問9】 今回のツアーは、スケジュール的にどうでしたか？（1つにシをつけてください）

- 適切
- ハード（詰め込み過ぎ）
- もっと観光等入れてほしい



***特別にコメントあったものを掲載**

- ・4時半の集合はさすがに早かったです。でも、飛行機があれしかないので仕方ないですね。
- ・少し朝早い日があった。
- ・観光を増やして欲しい！ではなく、もう少しホテルでゆっくり出来れば…
- ・もっと観光等を入れてほしい（土曜日、日曜日に限定）

【問10】 今回の研修ツアーの感想及び今後の研修ツアーを行う場合の運営上の改善点・ご意見・研修ツアーに期待するものなど自由にお書きください。

……（* 回答内容全文掲載）

- ・このたびは本当にお世話になりました。個人ではとても訪問できないような所ばかりで、とても貴重な体験でした。研修ツアーの運営につきましては、悪い点は全く感じませんでした。本当にありがとうございました。来年も参加したいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。
- ・今回も大変に良い企画、かつ実施できたツアーでした。事務局のご苦勞に大いに感謝いたします。突然の飛行機便の変更などでやりくりが大変だったと思いますが、臨機応変なご対応で見学はほぼ予定通りでした。ありがたいことです。各都市の食品マーケット、巨大市場、そしてダラットの靈山寺は花々が咲き誇り見事でした。初日のハノイ市のバスでの名所ルアー、ホーチミン観光も良かったです。ありがとうございました。
- ・私にとってベトナムが初めてでしたので、とても新鮮でした。ただベトナムの農業事情を研修で重ねて行くたびに脅威を感じ、日本にとって不安を感じました。
- ・成田集合がフライトの関係もあり、8時～8時30分は大変きついです。できれば、もう30分遅ければ幸いです。篠原会長、戸谷さん、平島さん大変お世話になりました。平成26年度のツアーを期待しています。今後ともよろしく願いします。
- ・通訳がつくのは非常に助かりました。可能であれば、訪問先で通訳される方に日本の施設園芸用語も日本語でレクチャーできれば、意思疎通もスムーズになるのではと感じました。“ボタ落ち”という言葉などは、わかりにくいようでしたので。
- ・事務局の方々がハードな日程の中、スケジュールリングをうまくして頂き、また余りこれまでご縁の無い方々とも話す機会もあり良かったです。
- ・毎回適切な内容と適度な視察先で大変良いと思います。
- ・見学がほとんどなので、現地関係者との交流の場を設けてほしい。英語圏以外では事前資料がほしい。
- ・早朝と夜間の移動は肉体的にはきつかった。
- ・施設園芸に特化した研修ツアーを期待します。
- ・お疲れさまでした。ベトナムにはビジネスチャンスはたくさんあると思いました。ただ、その為に国の歴史や文化を学ばなければいけないということも、今まで以上に感じました。多くの方がツアー参加をされて、多方面からの意見、情報交換をすることが出来ました。
- ・今後、日本農業にとって、脅威となるであろうベトナム農業の実態を直接見る事ができ、有意義でした。また、業界関係者と7日間一緒に、関係を深められたことも非常に良かったです。
- ・集合時間が決めた時間より日増しに早くなる傾向にあった為、5分前の集合でも罪悪感の無いように調整をお願いいたします。他は細かな配慮を頂き大変ありがとうございました。お疲れさまでした。
- ・ご同行いただいた協会の皆様だけでなく、事務所で様々な準備などを行った方々を含め、きめ細やかな配慮に感謝いたしております。

- ・ 社会主義共和国のベトナムなので、事前の視察先交渉やアポイント等、事務局のご苦労が推察出来ます。突然のフライト変更などがありました。ほぼ予定通り視察出来、ありがたかった次第です。今回もハードな視察ツアーでしたが、程よく観光も入れて頂き、所々息も抜け、大変良かったと思います。
- ・ 日本施設園芸協会の今回のツアーの事務局感じでございます平島様、戸谷様のご尽力に対し、本当にお疲れ様でございました。そして本当にお世話になり、ありがとうございました。感謝の気持ちで一杯でございます。以上、御礼まで……。
- ・ 初めて視察研修に参加させて頂き、ここまで段取り良く訪問先を回れたのには、ただただ感謝するだけです。篠原会長をはじめ、平島企画部長、戸谷事務局長、大役お疲れさまでした。心より感謝申し上げます。
- ・ 日程の長さ等は問題無かったのですが、個人的には日曜日中に現地に入り、月曜朝一から研修スタート、帰国は土曜日中が助かります。内容等に関しましては今回同様で結構かと思いますが、農材流通会社、ハウスメーカー、フィルムメーカーも回れると助かります。(あくまで個人的な願望です。訪問国によりますが……)いろいろアレンジ面でご苦労されたと思います。ありがとうございました。
- ・ 中国研修ツアーの時のように視察先の事前資料がほしい。視察後のレポートを作成頂いたのはありがたかったが、できれば事前に用意頂ける事を連絡頂ければ嬉しく思う。
- ・ 訪問場所では必ず施設園芸面積、主要作物、フィルム種類、主需要地について協会側で最初に質問して欲しい(可能であれば事前に質問を投げかけ準備させて欲しい)
訪問先の詳細な名称及び住所(英語&日本語)を(事前に)知りたい→スペインの報告書を見ても訪問先名称がはっきりしない。場所も不明確な気がした。
総て網羅は不可とは思いますが、事前に参加者から「1つ確認したいこと」のアンケートしてみるのはいかがでしょうか？ 意外と同じような質問かも知れませんが。
やはり日系AIRを希望(予算的な問題なのでしょうが)
基本的には再度参加希望ですし、色々な方と出会えたことも含め大変有意義であった事は間違いありません。生意気な事も記載してしまいましたが、是非とも今後更なる有意義な研修として頂きたい思いです。
- ・ 早速、調査の概要、写真を送って頂き、ありがとうございます。至れりつくせりのサービスと思います。ツアー中も含めて、心配り、心配り、が一段とハイレベルになったという印象です。計画通りに進まず、変更せざるを得ない事態が出るのは、海外ツアーではよくあることです。ベトナムという社会主義の国で、ほぼ計画通り視察できたことは、視察先との連絡調整がすばらしかったからだと思います。
- ・ 単なる研修ツアー、見学ツアーとせず、ビジネスツアーとなること、その際には一分野一社とされたし。

2013 ベトナム施設園芸現地研修ツアーのご参加の皆様へ

この度は、当協会主催の「2013 ベトナム施設園芸現地研修ツアー」にご参加頂き、誠にありがとうございました。参加者は、定員を上回る27名で実施致しましたが、皆様のご協力により、無事7日間の研修ツアーを終えることが出来ました。研修・視察先としては、アンケートにありますとおり、13カ所の施設生産の現場へ足を運ぶことができました。

13カ所の視察先選定やその内容につきましては、ツアー参加者の視点等により、それぞれ受け止め方が異なると思いますが、参加者の皆様がほぼ満足いただける研修ではなかったかと思われれます。皆様からのアンケートにもあります様に、視察先の事前情報収集等を試みましたが、社会主義共和国のベトナムでは、まだまだ海外からの視察受け入れ体制など万全ではなく、視察先のアポイントを取るのにも大変で、一部、出たとこ勝負と言った感で出発したきらいはありましたが、コーディネーターをして頂いたベトナム農業農村開発省の菅谷様のご尽力、ベトナム側の関係機関のご厚意やツアー参加者のご協力により、ほぼ行程どおりツアー実施できたことに感謝申し上げます。

ツアー参加者全員から頂いたアンケートのご回答及び忌憚のないご意見は、今後の研修ツアーをさらに良いものとするための貴重なご意見として活用させて頂きたいと考えています。

一般社団法人 日本施設園芸協会

● 2013 ベトナム施設園芸現地研修ツアー 行程表

| 日次 | 月日 (曜日) | 都市名 | 現地時刻 | 交通機関 | 日 程 | 食事条件 | | |
|----|--------------|---|--|------------------------|--|------|---|---|
| | | | | | | 朝 | 昼 | 夕 |
| 1 | 11/18 (月) | 成田 / 関西 成田 / 関西 ハノイ 着 | 10:00/10:30 14:30/14:10 18:20 19:00~21:00 | VN311/331 専用バス | 成田空港(8:00)/関西空港(8:30)へ各自集合 空路、ハノイ/ノイバイ空港へ 【所要時間:約6時間30分/約5時間40分】 *着後、ハノイ市内観光(○玉山寺 ○旧市街) ○現地スーパー視察(FIVI MART) ハノイ市内のホテルへ ホテル内レストランにて夕食(ウェルカムパーティー) 《ハノイホテル宿泊》 | - | 機 | ○ |
| 2 | 11/19 (火) | ハノイ市近郊 | 08:40 18:50 | 専用バス | ●ベトナム農業農村開発省(MARD) ●ハノイ近郊施設園芸団地(網ハウス 19生産農家) ハノイ市内にて昼食 ●Fruit and Vegetable Research Institute(果実野菜研究所) ●安全野菜農場(バンドク村)露地野菜団地 ホテル到着後、自由行動 《ハノイホテル宿泊》 | ○ | ○ | × |
| 3 | 11/20 (水) | ハノイ 発 ホーチミン 着 ホーチミン市近郊 | 08:30 11:50 13:50 20:00 | 専用バス VN233 専用バス | 専用バスにて空港へ ハノイ空港にて昼食 空路、ホーチミンシティ空港へ 【所要時間:約2時間】 ●南ベトナム農業研究所(※フライト変更に伴い、視察先変更) ●地方自治体機関(ホーチミン市農業農村開発局) 視察終了後、市内レストランにて夕食をとり、ホテルへ 《ラマナホテルサイゴン泊》 | ○ | ○ | ○ |
| 4 | 11/21 (木) | ホーチミン 発 ホーチミン 着 ダラット 着 ダラット市近郊 | 04:45 06:05 06:55 18:00 | 専用バス VN1380 専用バス | (ボックス朝食) 空路、ダラット空港へ 【所要時間:約50分】 ○霊山寺散策 ●ラムドン省農業農村開発局(Lam Dong DARD) ●DALAT GAP CO. LTD及びダラットの施設園芸団地 ダラット市内にて昼食 ●一般農家の竹骨ハウスなど多種類 ●一般のハウス建設現場(カーネーション栽培)等 ホテル内レストランにて夕食 《ゴルフ3ホテルダラット泊》 | ○ | ○ | ○ |
| 5 | 11/22 (金) | ダラット市近郊 ダラット 発 ホーチミン 着 | 08:40 18:00~19:45 21:40 22:15 | 専用バス VN1383 専用バス | ●ダラットHas Farm(民間の輸出を目的とした農園) ダラット市内にて昼食 ●ダラットpotato.vegetable & flower Research Center ダラット市内観光(○ダラット市場 ○ダラット教会 ○ダラット駅) ダラット市内レストランにて夕食 空路、ホーチミンシティ空港へ 【所要時間:約35分】 《ラマナホテルサイゴン泊》 | ○ | ○ | ○ |
| 6 | 11/23 (土) | ホーチミン市近郊 | 08:15 17:30 21:00 | 専用バス | ●ホーチミン市ハイテクパーク(クチ) ホーチミン市内にてフリー昼食 ○現地スーパー視察(COOP MART) ホーチミン市内観光(○歴史博物館 ○サイゴン大教会 ○中央郵便局 ○ベンタン市場) ※観光後自由散策 散策後集合し、ホーチミンシティ空港へ | ○ | × | × |
| 7 | 11/24 (日) | ホーチミン 発 成田 / 関西 着 | 00:30/00:10 07:45/07:00 | VN300/320 | 空路、帰国の途へ 【所要時間:約5時間15分/約4時間50分】 成田空港/関西空港着後、通関、解散 《機内泊》 | 機 | - | - |

●利用予定航空会社・・・VN:ベトナム航空

●食事・・・○:食事あり、×:食事なし、機:機内食